

No.	14-3-6	場所	松川町 福沢川	次世代への継承キーワード
名称	土砂に埋まった福沢川			災害現象理解
災害現象	土砂流出			河川 福沢川
補足事項				支流

諏訪市 岡谷市 辰野町 箕輪町 南箕輪村 伊那市 高遠町 長谷村 宮田村 駒ヶ根市 飯島町 中川村 大鹿村 **松川町** 高森町 豊丘村 喬木村 上村 飯田市 南信濃村 清内路村 阿智村 浪合村 平谷村 下條村 阿南町 売木村 天龍村

松川町生田地区の斜面は、風化すると砂状になりやすい花崗岩からできている。降り続く雨により、いたるところで斜面が崩れ落ち、屋根筋の集落を残して被害は全域に広がった。間沢川、寺沢川、福沢川に流れ込んだ土砂は谷沿いの水田を呑み込み、大きな土石流となって、下流の福与地域をはじめ、天竜川沿いの集落に大きな打撃を与えた。

●体験談：災害当時、消防団員（松川町福与地区在住）
 <日付の記載なし。6月28日か？>私は朝食後、近くの福沢川橋の南側で近所の皆さんと濁流を見ていました。福沢川橋は流木で詰まり、泥水は県道をオーバーしていました。その時、**気がつくとも上流より山のようになって黒いかたまりが押し出して来ました。樹木、泥水、流石等です。山が抜けて、谷を塞いでダム状になり鉄砲水となって、目の前にある（中略）<家を>土石流が一気にバリバリ、土蔵の砂けむりが立ち上がり、体が震えてその場を逃げました。**
 （松川史学会誌 15「昭和36年梅雨前線豪雨災害 三六災害の思い出」p.25）

記 録



土砂の流失により、埋まってしまった福沢川

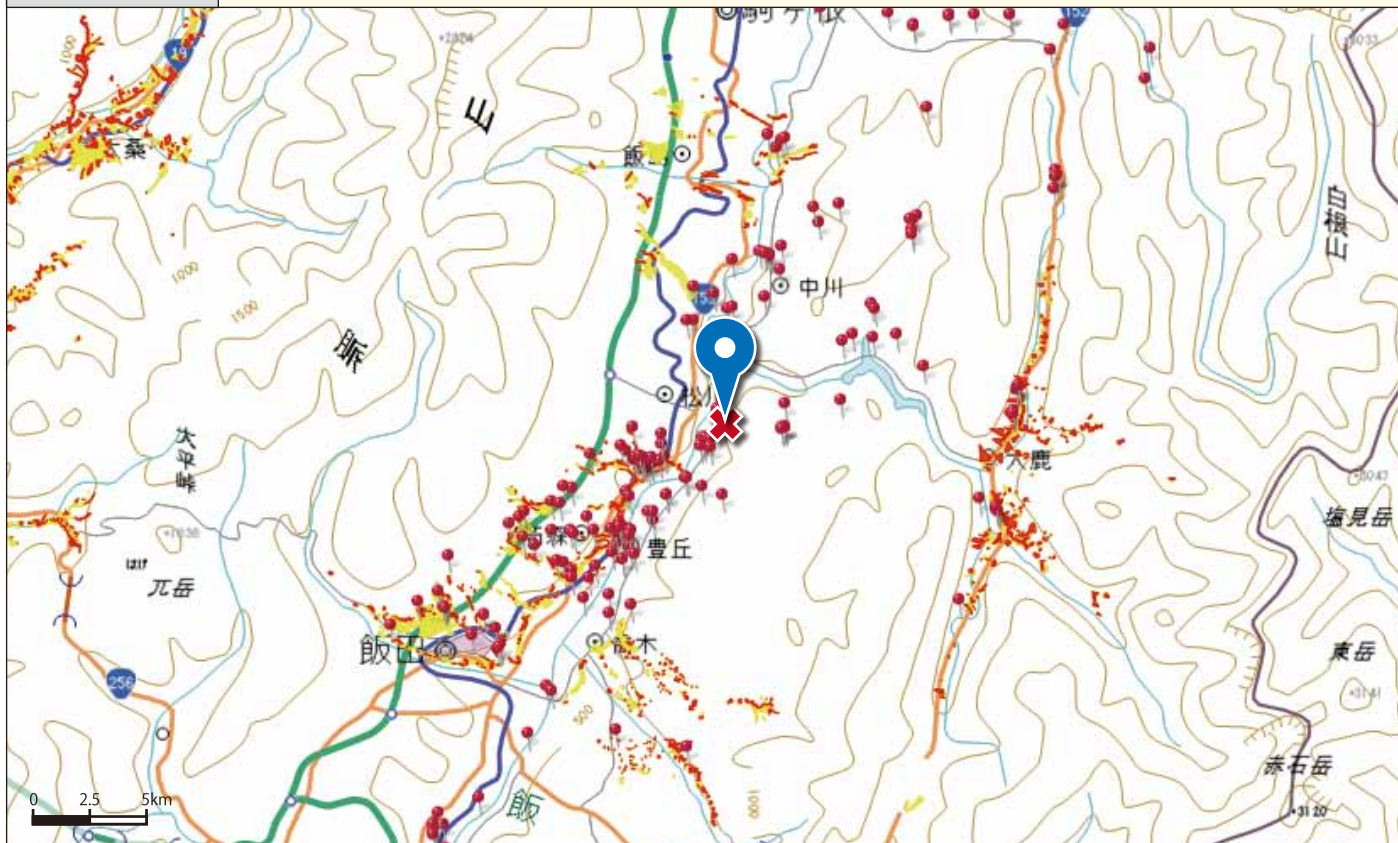
出典 「松川町史 第1巻」p.320/ 松川史学会誌 15「三六災害の思い出」p.25

備考 概要欄の< >は編者が補足説明したものです。

No.	14-3-6	場所	松川町 福沢川	緯度	35.590349
-----	--------	----	---------	----	-----------

名称	土砂に埋まった福沢川	経度	137.928516
----	------------	----	------------

地図 広域図



地図 詳細図



備考 上記地図に表示されている、黄色の区域は「土砂災害警戒区域」（通称：イエローゾーン）といい、土砂災害のおそれがある区域を指します。また、赤色の区域は、「土砂災害特別警戒区域」（通称：レッドゾーン）といい、土砂災害警戒区域のうち、建築物に損壊が生じ、住民に著しい危害が生じるおそれがある区域を指します。